



〈表紙写真の紹介〉

雪の庭 (鳴子)

絵のグループの忘年会で鳴子温泉に宿泊。前日から降り続く雪に、辺り一面はすっかり雪景色に。ホテルの窓越しに見える中庭の雪灯籠の綿帽子の寂しげな様子をオイルパステルでスケッチしてみました。

絵画提供/五ッ橋クラブ 高砂 純治

I INDEX

NTT東日本より	1
NEW 賛助会員企業様コーナー	5
東北地方本部だより	7
各地区電友会だより	9
会員だより	64
NEW 会員リレーコーナー	68
会友コーナー 文芸・随想	72
NEW でんでんみちのく 川柳コーナー	78
編集後記	79

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 取締役 宮城事業部長
宮城事業部 宮城支店長
東北復興推進室長

柴田 基 靖

(NTT東日本一東北 代表取締役社長)



東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成26年7月、弊社業務運営体制の見直しにより東北6県を統括する宮城事業部が発足してから、早いもので1年半が経過しました。徐々にではありますが、東北6県が一つになった効果が経営面で表れており、おかげさまで昨年度は宮城事業部として黒字化を実現することができました。

さて、平成27年度は東日本大震災から5年間の「集中復興期間」の最終年度となっていますが、残念ながら復興はいまだ道半ばと言わざるを得ない状況にあります。そして、平成28年度からは新たに5年間の「復興・創生期間」が始まります。

そのような中で、私どもNTT東日本グループは、社会基盤を担う通信事業者として、震災前よりも「一歩進んだ街づくり」に向け、引き続き全力で貢献してまいりたいと考えています。東北電友会の皆様には、今後も、NTT東日本グループの取り組みに、これまで同様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、今後、各自治体を中心に地方創生に向けた様々な取り組みが行われることとなりますが、NTT東日本グループは、ICT分野を担う事業者として、地域密着型の光ネットワーク基盤や保守・サポート体制等の強みを生かし、自治体や地元企業の皆様と連携しつつ「まちづくり・しごとづくり・ひとづくり」にもしっかりと貢献してまいりたいと考えています。

具体的には、①防災・減災に関しては、命にかかわる防災情報を一つの端末操作で地域滞在者へ一斉配信できるシステムの構築、②観光に関しては、観光地や商店街の活性化に向けたWi-Fiの整備、③教育に関しては、クラウド・タブレット等を活用した膨大な校務の効率化や教育環境の整備、④医療・福祉に関しては、病院や福祉施設とネットワークを結んでの医療福祉情報ネットワークの構築等に取り組んでまいります。

NTT東日本グループは、このような取り組みを通じて魅力・活力ある地域をつくるため、“身近なICTバリューパートナー”としてお役に立てるよう努力してまいります。

次に、皆様から物心両面でご支援いただいている「東北マークス ベースボールクラブとバドミントンチーム」については、昨年は残念ながら皆様の期待に応えられず、悔しい思いをしましたが、今年は気持ちも新たに、各種大会での上位入賞など、目標達成に向け全力で頑張っておりますので、旧に倍するご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、東北電友会の益々のご発展、東北電友会の皆様のご健康とご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



東北地方本部長

宮城支部長

小野寺 昭夫

「終活」なんてやめなさい!

本やに行く目につくのが「終活」や「そなえ」といったタイトルの刊行物です。

TVコマーシャルでは「生きるお葬式」などと訳の分からぬことを流しているし、電友会に行くと「私のあしあと」(弔辞を奉読するさいの略歴)を出してください、というあの世への準備を整えるよう促されます。

日本人の死生観の「清く、後顧の憂いなく準備を」という表れなのでしょう。別に文句をつけるわけではないのですが、何となく違和感があるのです。それは死んだあととは、決して自分の思うようにはなっていない事例を見聞きしているからです。

敢えて提案します。死んだ後のことは若干の葬式代さえ残せばよいのではないのでしょうか?

むしろ「今を生きる」「先を見て生きる」ことのほうがもっと有意義で大事なのです。老いを嘆くより、これからの人生で成し遂げたいことを目標にして生きていくのです。

そこで目標の立て方ですが、やりたいことを50項目ぐらい、とにかく書き出してみます。その中で本当にやりたいことを5項目まで絞り込み、さらに5項目にスケジュール感を入れていけば出来上がりです。

あとは実行あるのみ。ちなみに私は次のような目標を立てています。

- ① 70歳までにもう一回人生の結節点をつくる。
- ② 2人の学生の足長おじさんとなり大学に入学・卒業させる。
- ③ 3年後に船の旅で世界一周をする。
- ④ 私小説を5年間かけて書く。
- ⑤ 2日に1回はスポーツクラブに通い健康体を維持する。



SEAMLESS CLOUD FOR THE WORLD

Hosts Enterprise

196カ国/地域のネットワークカバレッジ。総面積にして約35万㎡に及ぶ、世界140拠点以上のデータセンター。私たちNTTコミュニケーションズは幅広いシームレスICTソリューションによって、企業の皆さまのICT環境をグローバルに最適化します。

グローバル統一仕様のサービス。一元的なオペレーション。そして、日本企業ならではのたしかなコミット力。意思決定の迅速化。新規事業の創出、生産性の向上などお客様のさまざまな経営改革に貢献します。

Expand your business globally. Go to ntt.com



NTTから退職者の皆様へ

退職者(二〇年以上の勤続者)に対する

長寿お祝金の取扱いについて

NTTから次のとおり、お贈りしています。

- 喜寿のお祝い(七七才)三万円
- 米寿のお祝い(八八才)五万円
- 白寿のお祝い(九九才)十万円

注)年令は満年令でNTTが把握し贈呈しております。
不明の点があればご照会ください。

退職者(二〇年以上の勤続者)に対する
弔慰金の取扱いについて

NTTから次のとおり、香典をお贈りしています。

- ①本人 …… 三万円
- ②配偶者 …… 一万円

—NTT各支店総務担当電話番号—

宮城支店	(022)269-2020
福島支店	(024)531-7481
岩手支店	(019)625-4411
青森支店	(017)774-9229
山形支店	(023)621-9515
秋田支店	(018)836-8923

長寿お祝い金および弔慰金に関するお問い合わせなどは
左記の機関が窓口となっておりますので、遠慮なくご連絡
ください。

— 忘れない。忘れてはいけない —

震災コーナー



◎竹馬の友、今何処



五ツ橋クラブ 小坂 仁

平成27年も3月11日が過ぎてゆく。瓦礫が撤去され、道路が修理されてもあの人は帰って来ない。

魂を乗せ、祈りをこめた笹舟が蠟そくの灯にゆられながら広瀬川を流れて行く。

母と子が津波に奪われました。どうして、私だけが生きているのでしょうか・・・。

イギリスのBBC放送記者を石巻の避難所に案内した時の罹災者の証言である。女性の記者は涙ぐみながらカメラをまわした。どうして日本人は謙虚で慎みぶかいのですか。

記者は思いやりに溢れ、辛抱強い東北人の心を垣間みたのかも知れない。涙がきらりと見えた。

4年半の歳月が消えて行く。荒浜で波にのまれた竹馬の友は未だ見つからず悲しみは消えない。彼は仙台という地名の由来を「千鉢仏」に求め、千体仏のある寺を巡礼していたのであった。悲しいかな、街が復興し市民生活がもどっても失われた人の命の復活はあるのだろうか。

信仰してやまない弥勒仏の破片が頭に落ち書籍にうずもれ、気を失いつつあったあの日が切ない。

物忘れが激しく耳が遠い。聴覚障害者の手帳が交付され緑内障で手術を待つ身になった。でも杖を頼りに神社仏閣文化財のガイドを続けた。長町の十八夜観音、満蔵寺の千体仏、落合の十一面観音は倒れたのか心配で眠れなかった。原発近くに住んでいる教師の長女は避難を望まず、助けあい励ましあいながら生きることの尊さを教えています。と連絡があった。まほろほの里、わが福島は現在も放

射能に晒され故郷に帰れない人々が12万人も呻吟している。

ノーモアヒロシマの運動に捧げた青春の日々を思いだす。

未だ放射能未解決のまま再稼動の原発。この現実を今は亡き恩師、井上ひさし先生ならどうなさるだろうか。

核廃絶の道は遙に遠い。チェルノブイリ、広島長崎を忘れてはなりません。地道な運動を子々孫々に継承するのです。綺麗な空気を残し、未来に希望の持てる社会を創るのが私達の責務です。津波、そして原発事故の悲劇を魂に刻み、後世に伝えるのです。若林区の浪分神社は慶長津波の史実。

「契りきな形見に袖をしぼりつつ未の松山浪越さじとは」と詠われた多賀城の歌枕の津波は貞観11年の悲劇です。あなたは歴史を忘れても、歴史はあなたを忘れないでしょう。静かに論される井上先生の声が聞こえてくる。愚かなるかな悲劇は風化し、いつの日にか忘れられ記憶から消え去ってゆく。滅びゆくわが身も顧みず、津波原発事故の真実を語り継ぎたいと思う昨今である。

好きだったくちなしの香りに誘われて

竹馬のともは今いづこ

新
コーナー

賛助会員企業様コーナー

新コーナー「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方を寄稿していただくコーナーです。今回は(株)TTK様と日比谷総合設備(株)東北支店様です。

踊りは楽しいですよ!



(株)TTK

コミュニティ事業本部

佐藤 糾

おかげさまで、平成27年還暦を迎えたTTKに入社して早8年目になりました。NTT様頼みのビジネスから少しでも脱却すべく取り組んでいるところです。世の中の風の冷たさ、厳しさを日々感じている今日この頃であります。安全と品質を最優先に、信頼される情報通信エンジニアリング会社をめざして頑張っています。

平成16年6月、単身生活にピリオドを打って12年目、これほど長期間に亘って地元で仕事ができることの幸せをしみじみ感じているこの頃でもあります。また、同年11月に仙台北ロータリークラブに入会させていただき、異業種の方々との交流も貴重な宝物となっています。本当に幸せ者です。

さて、私の趣味であるフォークダンスですが、44年前友人に誘われて槻木のフォークダンス愛好会の例会に参加したことがきっかけでした。平成8年からは仙台市フォークダンス協会に入会して活動が続けておりますが、難しいステップやターンを上手に踊れるようになった時の喜びや、皆と一緒に踊る嬉しさを味わいながら楽しんでおります。創立50周年(平成14年)には記念イベントとして「フォークダンス踊る音楽会」を楽楽ホールで開催し、ポーランドの「ポロネーズ」「マズール」を約1年かけ

て練習し披露しました。当時私は東京に単身赴任でしたが、毎週のように帰省して練習に参加し、単身寮の廊下でステップの確認をしたり：覚えるのに夢中でした。

平成23年3月の東日本大震災から数カ月を過ぎた頃に、宮城野区の避難所の方から避難所でフォークダンスを紹介して元気づけて欲しいとの声がかかりました。皆で話し合い、悩んだ末に訪ねることにしたのですが本当に緊張しました。でも楽しんでもらえたと思っています。その後、名取市、石巻市の仮設住宅を訪問して一緒にキーを作ったり、フォークダンスを楽しんでいただいたり、雄勝の復興イベントなどにも参加しました。

創立60周年(平成24年)には「ウクライナの踊り」を平成27年はハンガリーの「ドゥナントゥーリ・ウグロシユ」という踊りに挑戦し、創立パーティーで披露しました。平成17年からは、すずめ踊り、YOSAKOIにも参加させていただいて、NTTグループのフレッシュユナ方々と一緒に、楽しく踊らせていただいております。どこの国の踊りでも、見るよりは踊ったほうがずっと楽しいものです。踊る人だけが知るフォークダンスの楽しさを、皆さんも味わってみてはいかがでしょうか。



日比谷総合設備(株)東北支店

総務部

加藤 智得

忙しく、充実した毎日を送っています!

日比谷総合設備(株)東北支店に在籍しております加藤です。私もNTTOBとして、電友会に加入しており、電友会の会報を読んでおります。その中で一番印象に残った記事は、東日本大震災という大きな苦難に前向きに立ち向かっているOBの皆さんに感動致しました。また、各地区電友会だよりで、会員の皆さんが活き活きとサークル活動に興じられている様子を楽しみ拝見しております。自身の経歴は、昭和50年に電電公社に入社、4年前にNTT東日本を退職し現在に至っております。在職当初は線路職で、その後は経理・企画部門の仕事でした。現在、日比谷総合設備での業務は、総務系と財務系の業務全般です。その他にも工事の現地立会や現場の安全パトロール、NTT様等への営業提案など、業務は多忙を極めますが、遣り甲斐を感じているので、毎日が充実しております。

趣味は、映画観賞とゴルフですが、中々忙しく、趣味に興じることが出来ないのが悩みです。ここで、弊社がどのような会社なのか紹介させて頂きます。28年度、創業50周年を迎える古い歴史を刻んでいる建設業の会社で、経営の基本方針は、建物設備のライフサイクルの最適化に向けて取り組んでいる企業です。26年度の経営実績は、従業員が日比谷グループ全体で約8

70名、売上高713億円、利益は比較的安定した額を毎期確保しております。お陰様で企業評価として、私が日比谷に入社した時点と比べ株価が70%程度上昇しました。余談ですが、投資に関心ある方は日比谷の株も新聞で確認(東証一部上場)してみてもいかがでしょうか。弊社は、北海道から九州・沖縄まで支店と営業所を配置しています。東北支店は、30名の社員と約70社の協力会社で業務を展開し、秋田に営業所、盛岡に工事事務所を構えております。具体的な業務は、建物内部の空調・衛生・電気・情報通信・各設備システムの設計及び施工を生業としています。最近では、大規模太陽光発電所設備構築や3Dスキャナによる建物設備構造診断などにも取り組み事業拡大に努めております。業務外では、地域貢献の一環として「仙台七夕」や「光のページェント」前の市内清掃活動に参加し、多少でも貢献できればとの思いで社員は参加しております。

最後になりますが、弊社はNTTグループの一員として、電友会の活動に微力ながらも側面から支援してまいりたいと考えております。電友会のご発展と会員皆様のご健勝を祈念し、企業紹介を結了させて頂きます。

日比谷総合設備(株)東北支店

東北地方本部だより

東北地方本部事務局

・第25回ボランティア活動

大友 良さん(宮城支部)

「低肺機能患者団体の活動支援」

支援グループ東北白鳥会に所属し、20年に亘り活動全般の中心的役割を担われ、仙台市障害者福祉協議会からも感謝状を贈呈されるなど大いに貢献されました。

小林耕喜さん(福島支部)

「地域に密着した美化活動及び学童育成、防犯活動に関する功績」

地域の美化、防犯活動の他、4町会で構成する会合を結成し地域の交流・振興にも大いに貢献されました。

村山ひで子さん(山形支部)

「生涯学習の場として『名所・旧跡』のガイドボランティア活動」

郷土の史跡、博物館等のガイドを務めると共に、ガイドグループの指導的存在として活動全般を牽引しています。

・ボランティア活動長期継続団体賞

我孫子洋子さん(山形支部)

「NTTボランティア愛のはと」として、平成6年から特別養護老人ホーム等へ年間1700枚もの清拭タオルの縫製、贈呈の活動を行って、平成17年にボランティア活動賞を受賞されましたが、その後も継続して取り

◎支部長・事務局長会議の開催

27年7月23日、NTT五橋ビルにおいて開催。ボランティア活動賞、電友会功労賞、地方本部長賞の推薦、会報77号の発行等について審議、決定しました。

◎第2回女性の会への参加

27年8月27日、28日、本部において開催。東北からは、平井妙子さん(地方本部)、村上御幸さん(岩手支部)が参加。地域の特色を生かした活動等について話し合いました。

◎ICT健康モデル実証活動への参加

今年度も昨年度の参加者及び新規参加者を募って10月から開始されました。自らの健康維持とデータ蓄積によるNTTグループ事業への貢献が期待されます。

◎気仙沼大島 海岸林再生活動への参加

NTT東日本宮城事業部主催のボランティア活動に、宮城支部8名、岩手支部5名が参



電友会ボランティア活動賞表彰式
平成27年11月27日

加しました。ご協力ありがとうございました。

◎電友会ボランティア活動賞受賞

27年11月27日、本部主催の表彰式が「KK Rホテル東京」において行われました。東北の受賞者は次の方々です。

組んでいることが今回の受賞につながりました。

・電友会活動功労賞

江場和男さん（山形支部）

「活力ある電友会山形支部内の事業推進について」

山形支部長として、会員拡大、サークル活動の活性化等に尽力。また、NTTOB36名による「光親善大使」の活動を展開。販売、故障情報の提供等NTTグループの事業に大きく貢献しました。

◎叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

高齢者叙勲

(叙位・叙勲) (支部名) (ご氏名)

瑞宝双光章 宮城 鈴木 胤顯様

宮城 村山 俊一様

宮城 芳賀 義明様

(平成27年6月～27年9月まで)



「まち」へ、一歩先へ、新・情報力。

タウンページ

タウンページは、店舗や企業を探したいときに、職業名やサービス名から電話番号や広告情報を探することができます。

iタウンページ

iタウンページは、全国各地の店舗・企業情報を手軽に検索できる、インターネット版のタウンページです。携帯電話やスマートフォンにも対応しています。

<http://itp.ne.jp/>

NTTタウンページ



NTTタウンページ株式会社 東北営業本部 0120-506309

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにお願いします。
〒984-8519 宮城県仙台市若林区五橋3-2-1 NTT五橋第一ビル2F
平日9:00～17:00(土日祝・年末年始は休業)

※タウンページは、NTT東日本・NTT西日本が発行する職業別電話帳です。※iタウンページは、NTTタウンページ株式が運営するインターネットサイトです。※iタウンページの利用者が情報を閲覧するためのご利用は無料です。※iタウンページのご利用には、インターネット接続に係る回線・プロバイダー等の契約及び料金が別途必要です。

[H27広表第527号][160731]

東北通産株式会社

電気通信資材・保安用品・事務用品・オフィス什器・OA機器 等
業務処理に欠かせない物品・消耗品を各種取り扱っております。

～スタッフ一同、誠心誠意対応させていただきます～



〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字松原47番9

電話 022(302)8100 F A X 022(302)8105

E-mail : info@tohoku-tsusan.co.jp URL : <http://www.tohoku-tsusan.co.jp/>



東北通産

で検索!